

## 平成30年度青少年心理アドバイザー登録一覧表

番号	氏名	生年	自宅住所	資格、所属等	応じやすい曜日等 午前・午後・夕方	抱負・得意分野等
1	もりや えいこ 守屋 英子	—	つくば市	臨床心理士 芸術療法士 茨城大学大学院 教育学研究科臨床 心理相談室非常勤 相談員	木・夕方 金・1日 日・前後  ※曜日等は流動的 ですので、ご相談 ください。	子どもの心を健康に育てることがとても難しくな っていると感じています。子どもが何か問題を起こした ことを機会として、学校・家庭・地域の大人達が、そ の子どもの特長や今までの育ちについて考え、その子 どもより良い成長とは何かを考え、子どもに関わっ ていくことが大切なのではないかと思ひます。 子どもたちの心の成長について一緒に考えていく ことができたらと思っています。
2	よしむら ひさし 吉村 尚	S15	水戸市	元学校カウンセ ラー (公社)いはらき 思春期保健協会 業務執行理事	金・1日  ※1か月前で あれば、曜日・ 時間の制限は ありません。	○青少年の理解や傾聴訓練(人間関係づくりの支援) ○家庭教育や子どもをとりまく家庭問題への支援 ○反社会的な問題行動への対応 ※「いじめ」や「自殺」の未然防止について ○演習では、ロールプレイなども取り入れた研修も可 能です。
3	すずき ひろこ 鈴木 宏子	S20	高萩市	臨床心理士 学校心理士 茨城県スクール カウンセラー	月・1日 土・1日 日・1日	問題行動を呈している青少年の方々とお会いしてい ます。彼らが周囲に対して「理解してほしい」と「理 解してほしい」の葛藤に揺れ、苦悩している姿に いとおしさを感じています。自立して生き抜いていく ためには、自己肯定感が欠かせません。その自己肯定 感を育てる環境づくり、心情を言語表現できるスキル トレーニング、エンカウンターやロールプレイ等、い ろいろな手法で共にサポートさせていただけたらと思 っています。
4	やまぐち とよかず 山口 豊一	S28	鉾田市	臨床心理士 学校心理士・上 級教育カウンセ ラー 聖徳大学教授	月・1日 火・前後 木・後夕 土・午前 日・前後	学校心理学の理論と技法を基に、青少年の内面 (心)の理解とサポート方法を探っていけたらと思 っています。その際、二つの視点があります。第一に、 青少年の心の悩みの状況です。特に青少年は「思春 期・青年期」の時期であり、情緒的に不安定です。学 習面、心理・社会面、進路面、健康面より理解し援助 します。第二に、教師・保護者・地域社会がチームと なり、サポートすることです。保護者と一緒に行う 「チーム援助」については、カウンセラー、ソーシ ヤルワーカーなどとの連携の視点から考えたいと思 います。
5	あべ せいいち 阿部 誠一	S40	—	日本カウンセリ ング普及協会認 定心理カウンセ ラー2級 鹿嶋市教育委員 会鹿嶋師範塾講 師 キャリア教育 コーディネー ター(経済産業 省) 私立高校スクー ルカウンセラー	月・1日 土・1日 日・1日  ※1か月前で あれば、曜日・ 時間の制限は ありません。	○青少年に対しては①知識・情報・技術等を「教え る」ことにより導く(指導)②個々の思い・悩み・スト レス等を引き出すことにより向き合う(カウンセリ ング)、という2つの相反する対応が必要です。 ○家庭の教育力が低下した現在、そういう学びの機 会・場所は限られており、①②の両方に対応できる人 材の不足・社会体制の不備を感じておりました。 ○私は左記の活動等を通して、「自己肯定感」育成を 自らのライフワークに位置付け、努力してきました。 ○対処療法だけでなく、「自己肯定感」育成を目的と する家庭教育学級、セルフカウンセリングワークシ ート開発、グループワーク、思春期保健講座講師等を行 っています。
6	うちこし みのる 打越 實	S26	水戸市	臨床心理士 私立高校スクー ルカウンセラー	月・前後 火・前後 土・1日 日・1日	現代の世の中は社会構造や生活が変化し、児童、生 徒や青少年の人たちが生きにくい環境になっていま す。成長しても自分が自分として生きぬく(社会適 応力)が十分に身につかず、うまく適応できなくなり、 仕事に失敗して「自己肯定感」がなくなり、ニートや 家に引きこもる青年が増えています。これらの人々が 生きるために、サポートするだけでなく、地域や家族 の支援を大切にしたいと考えています。 得意分野:発達障害臨床心理学、発達心理学、臨床 心理学、応用行動分析、認知行動療法、 青少年心理学、障害者の地域支援

## 平成30年度青少年心理アドバイザー登録一覧表

番号	氏名	生年	自宅住所	資格、所属等	応じやすい曜日等 午前・午後・夕方	抱負・得意分野等
7	さとう みよこ 佐藤 みよ子	S45	東京都	臨床心理士	土・前後 日・前後 ※上記以外でも対応できる場合がありますので、ご相談ください。	教育・福祉・医療など様々な現場で、お子さんや保護者の方々、その関係者（例えば、保育者や教師など）を対象とした支援活動を行ってきました。その中で「1人のカウンセラーが支援できる人の人数には限界がある。しかし、親や教師を支援できれば支援の可能性はぐんと広がっていく」と強く感じるようになりました。研修会では、体験学習を取り入れることで、参加者が自ら感じ、気づき、理解し、そして行動できるように意識しています。
8	おごせ とおる 生越 達	S35	水戸市	茨城大学教育学部教授 茨城県スクールカウンセラー	月・夕方 水・前夜 木・夕方 金・1日 土・1日 日・1日	現代の子どもたちは、難しい社会に生きているように思います。そして、子どもたちを学校・家庭・地域で力を合わせて支えていく必要があるように感じています。子どもたちの問題を一緒に考えることにより、私たちに出来ることや、さらにはこれからの社会の進むべき方向性についても探っていくことができれば、と思っています。
9	かなざわ こういちろう 金澤 浩一郎	S35	水戸市	臨床心理士 茨城県スクールカウンセラー	月・1日 金・夕方 日・1日	元高校教諭。現在は個人開業のカウンセリングルーム、精神科心療内科の病院、学校（小、中、高校）という3つの職場で、カウンセラーとして働いています。思春期青年期に多発する症状や問題行動（と言われるもの）に関心を持ち、その心理査定や心理療法（カウンセリング、遊技療法）に携わってきました。子どもから大人まで、話だけではなく、夢、箱庭、絵などのイメージを使ったやり方で行っています。これらの経験をいかしながら、お役に立てればと思っています。
10	ふじわら えみこ 藤原 恵美子	—	東京都葛飾区	臨床心理士 特別支援教育士	曜日等のご相談ください。	大学院にて、幼児期にソーシャルスキルトレーニングを行う効果の研究をしてきました。 現在、学校現場でのいじめや不登校などの問題の一つとして、子どもたちの対人関係の未熟さに起因すると感じられることが多々あります。 私は青少年心理アドバイザーとして、このような問題解決の一助となるように、子どもたちにはソーシャルスキルトレーニングを、大人も含めてはストレスマネジメントやアンガーマネジメントの実践的研修を行い、また、子育て中の保護者の方には、子育てが楽になるペアレントトレーニングなどの講義を提供したいと考えております。
11	おぬま えみ 小沼 恵美	S49	牛久市	認定心理士 茨城県スクールカウンセラー	曜日等のご相談ください。	県内の公立小中学校と私立高校でスクールカウンセラーをさせて頂いております。 多様化している青少年の「こころ」について、事例をおりませながら、いろいろな立場の大人がどのようにサポートしていくことが大切なのか、などを一緒に考えさせて頂ける機会があればありがたいと思います。
12	むかい たかよ 向井 隆代	—	つくば市	臨床心理士 聖心女子大学教授	大学の休暇時期(8月、9月、2月)に限らせていただきます。	これまで青年期の発達心理を専門として研究してきた経験と日本とアメリカでの臨床活動経験を青少年の理解に役立てることを目指しています。福島県、栃木県、茨城県でスクールカウンセラー活動の経験があります。
13	やまざき こういち 山崎 浩一	S49	高萩市	臨床心理士 特別支援教育士 (S.E.N.S) 茨城県スクールカウンセラー	月・夕方 水・夕方	小中学校での臨床活動（スクールカウンセラー）を中心としながら、子どもや保護者、教職員、地域の方々へのサポート活動などを行っています。 子どもが持っている能力や可能性を見出し、豊かな育ちを応援したいと考えています。関係作りのワーク、演習、事例検討など、具体的な活動や動きを取り入れた研修を通じ、みなさまと共に学ぶことができたら幸いです。